

今号のコラム

身近に潜む情報セキュリティリスク

先号の通信では、情報資産に関するガイドブックの発刊についてお知らせしました。今回は、その中でも情報セキュリティインシデント（以下「インシデント」）について紹介します。



【インシデントの種類】 ※教職員に起因するものを掲載しています。

1 不適切な情報管理

机の上に資料を置いたままにしたり、端末の画面を表示した状態で離席したり、ログアウトをしないままにすると、児童生徒が情報を見てしまうおそれがあります。

2 不正媒体の使用、情報の外部持ち出し

情報を校外へ持ち出して紛失したり、私物端末へダウンロードしたりすると、そこから情報が漏えいするおそれがあります。

3 窃盗・盗難による情報窃取

支給された端末や外部記憶媒体、紙資料などを校外へ持ち出した際、窃盗被害により情報が流出するおそれがあります。



4 過失操作

設定ミスや保存先の誤りにより、本来は閲覧できない校務系情報を児童生徒が閲覧できてしまう場合があります。また、大型提示装置に誤って情報を映してしまい、閲覧されるおそれもあります。

※参考：令和8年（2026年）1月23日付け教ICT第559号「道立学校における情報資産の管理について」（道立学校向け通知）

教育DXのヒントが見つかる — 学校DX推進報告会開催



2月24日に開催する学校DX推進報告会では、教育DXを推進している学校の取組を紹介し、各学校での実践に活かしていただくことを目的としています。当日は、道立学校ICT支援を活用した学校DX推進事業における「学校DX推進校（4校）」と、文部科学省指定事業として生成AIの活用に取り組んでいる「生成AIパイロット校（3校）」から発表していただきます。

今回は、学校でDXを推進するためのマネジメントを担う管理職やICT活用を推進する教員等を対象として実施します。

申込みは2月19日まで受け付けています。年度末のご多忙の時期とは存じますが、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

申込みはこちらの2次元コードからGoogleフォームをお願いします→



※参考：令和8年（2026年）1月30日付け教ICT第559号「令和7年度（2025年）「実践から学ぶ教育DX・校務DX推進報告会」の実施について」

ICT活用ポータルサイト



チャットボット案内が
利用できます！

ICT活用に向けた 校内研修プラン



ICTに関する校内研修を企画・
実施する際はこちらへ！

「みんなで研修」プログラム



短時間でICT活用を学べます！

校務DX化の促進に係る 関連情報ページ



ICTを活用した校務の
効率化についてはこちら！

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

